



君に贈る

FOR R18 ADULT ONLY

きゅん。
×boys = 南キユン

君の中で愛はとても
脆いものなのだろう

憎しみに飲まれ
千々に乱れる感情の波の中で
泡と消えるもの

君にそんな想いは贈れない

私はこれから死ぬのだから



びび

びび

イヤ

ガシ

ころ…して
やる!

うは…う

あっ

びび

びび

びび

愛しているよ

あ、い

君の憎しみは酷く甘美だ…
Playmaker

びび



あ

う

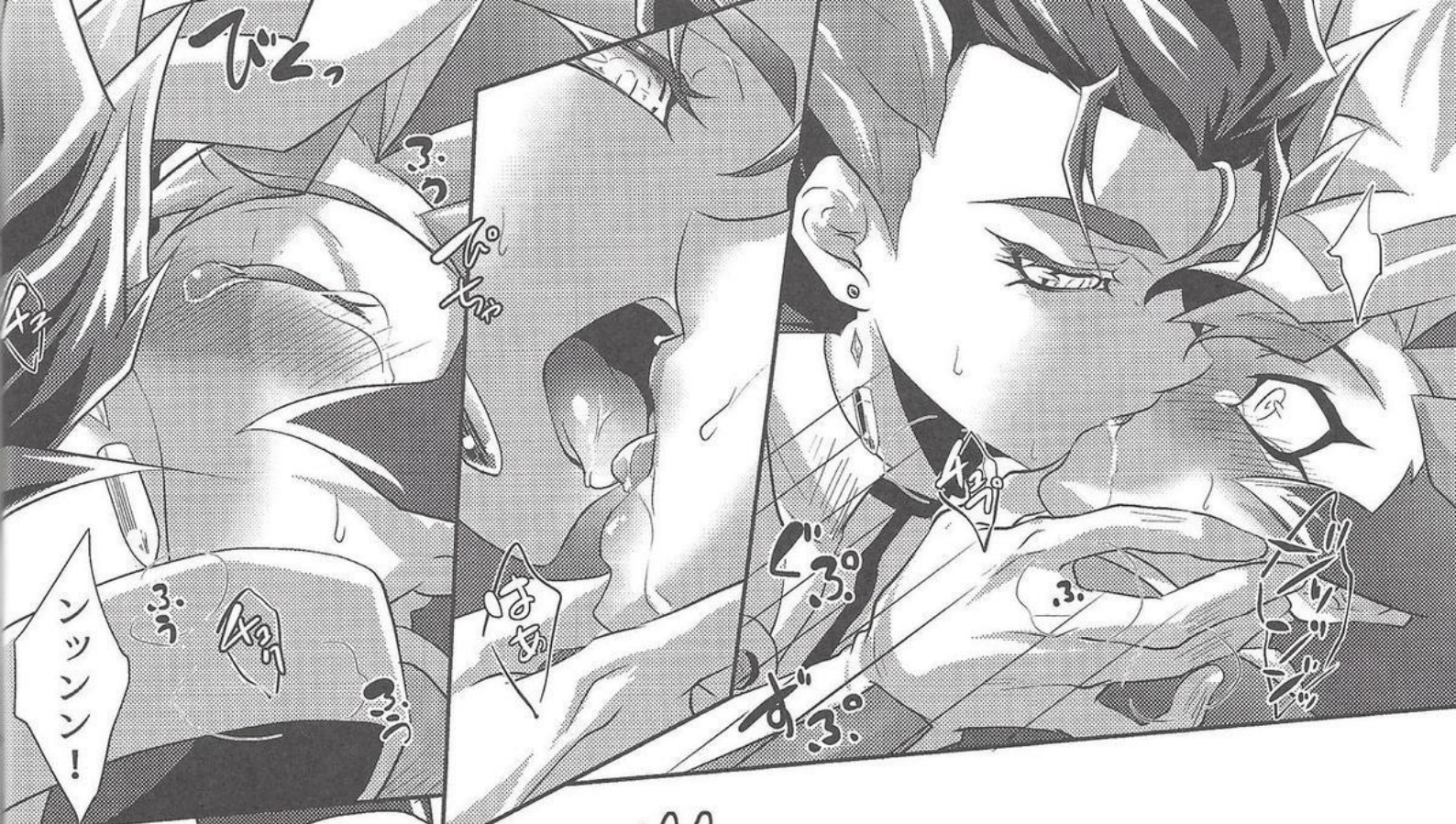
か

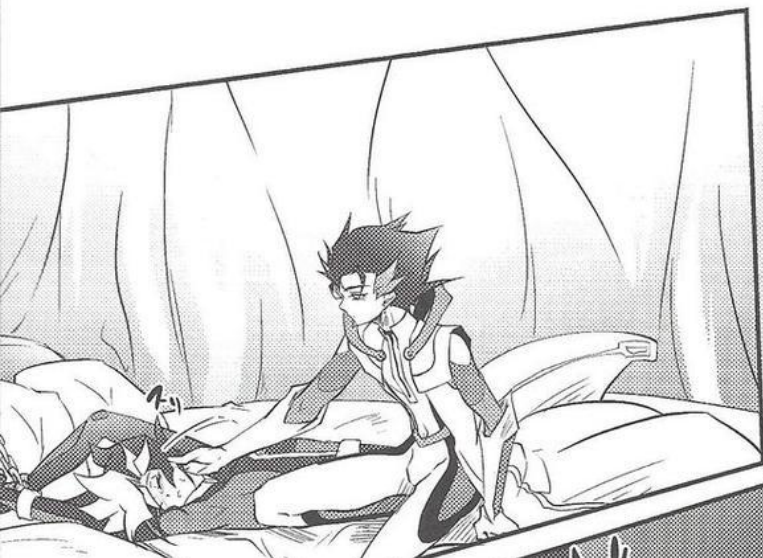
ふふ…君は
とても感じやすい

随分と浅ましい体
になったと思わないか？
Playmaker

あつ…くう…
お前…がつ！

君をこうしたのは私だ
よく覚えておくといい





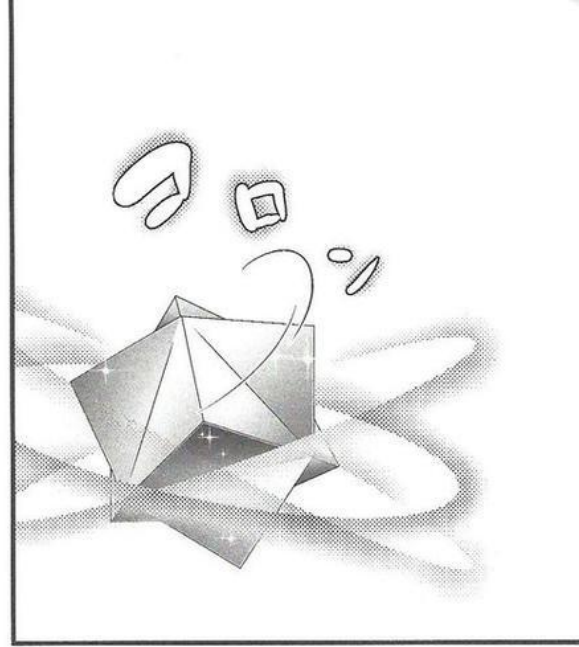
さわるな!

俺はお前を許さない
リボルバー!

それでいい
Playmaker.....

もう巣へお帰り

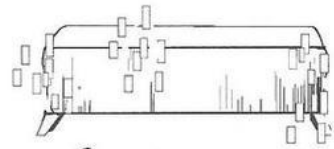




Plamakerの
感覚データ……



フラッシュバックは
虚構と現実を繋ぐ物



だから 君はここから
これを持ち帰らなくていい



君に残すのは記録に近い記憶
それだけでかまわない

君の想い 君に触れた感覚
それは私の罪と共に
私が持って逝く

だからこれは

私の……

私だけのものだ

これから私は死ぬから

君の中で簡単に碎けてしまう
愛などというものは贈れない



父さん
もうすぐですね

ネットワークを滅ぼすということは
父を殺すことに他ならない

その引き金を引くのは私だ

君を苦しめ
父を裏切り

そうして最後には
この手で父を殺す



私の罪は重くて
生きていくのは苦しくて

それでも消えていく私を
君には覚えていてもらいたい

だから君に憎しみを贈る



まってくれ!



まさかここでまた
会うとはな……
何を目的に来たにしろ
あれからひと月

家探しするにしても
それほどかかるとも
思えんが

お前に知られた
場所など
ハノイの拠点には
使えん

何を持っていっても
構わん

やはり俺の手を取っては
もらえないのか

鴻上……了見

俺はずっと
お前を救……

やめろと言っただろう！

そんなことはしない！
ここはお前にとって
大切な場所だろう？
データは見させて
もらったがそれだ

お前の憎しみはどうした？
復讐はどこへやった？

お前は何と言った

【復讐の使者】だと
そう言っただろう

救い出す？だと？

お前の顔が救助者の
ものだったとでも言うのか？

違うだろう

お前は紛れもなく
復讐者だった

……そうだ

俺の中には
お前を救い出したいという
想い以上に憎しみが蔓延っていた

だがそれはもう
終わったことだ

お前自身に何の
恨みもない！

だから

……なんの恨みも
……だと？



え?

Insta

あああ!!

お前をログアウトさせる度に抜き取った感覚データを返してやった

これでもまだ私を憎む理由が無いというのか

ビクッ

はっ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

00

ぶっつけた
Playmaker

私を殺すと言った
憎しみは思い出せたか

スペクターがああ的事件を
喜んでたと知ったとき
俺には理解できないと思った

だが今ならわかる
同じものを受け取っても
心が変われば
違うものを受け取るんだ

何を笑っている

俺にとって『この記憶』はすでに
憎い相手からの凌辱じゃない
大切な相手に抱かれた思い出だ

お前が感覚データを
残さなかったから
俺には映画を見ているよう
記憶しか残っていないかった

それでも……ああ
俺はお前を殺したい
憎んでいたな

お前の行動は間違いだ
俺は今でも思っている
お前の信念とは
相いれないとも

だが
お前が語る言葉が
不誠実だと思つた事は
一度たりとも無い

『愛している』と
お前は言った

それはお前の
真実じゃないのか？

教えてくれ
何故そんなに
俺に憎まれたいんだ

俺はもう
お前がお前である限り
憎むことはできないんだ

お前は……
好意など
忘れるだろ

父が帰らなかった
孤独の中で

父を蘇らせるまでの
苦悩の中で

使命を果たすための
闘いの中で

お前の事を想った

一日たりとて
忘れたことはない

お前を助けようと
しさえしなければ
こんな事にはならなかったと
毎日後悔した

それと同時に
こんな思いをしてまで
助けたのだから

お前は今
幸せだろうと思った

お前が幸せなら
それでいいとも思った

そしてその幸せの片隅で
私がいいたことを
私の想いを覚えていて
くれたならと願った

だが再会した
お前は憎しみで出来ていた

お前が語る過去の私への思いは
最早憎しみにこびりつく
残滓でしかない

お前の中の
好意という感情が
簡単に憎しみに
飲まれるのだと
私は知った

お前の中から
消え去る
くらいならば！

憎まれた方が
ずっといい！



なんだ……

それなら
何も心配いらぬ

俺が憎んだのは
俺の過去を奪い
俺に癒えない
傷を与えたからじゃない

俺にはお前と出会った
あの時からしか自分がない

お前が『傍にいる』
と言ったから生きられた

お前が傍に居ると思えば
安心できた
だが助け出されたその場所に
お前はいなかった



お前が居なかったから
俺からお前を奪った
存在を憎んだ



お前を救い出せない
この俺の無力さを呪った

お前の存在を
なかった事にして進む
この世界の全てが許せなかった

俺の憎しみは
お前への想いで出来ていた



だから
お前が傍に居てくれるなら
俺の憎しみは全部
お前への想いになるんだ



君の憎悪も愛も
全て私のものだというのなら

君の中では
憎悪も愛も変わらないのか



…君に…口づけても
いいだろうか

ああ!



私は君を

愛してもいいだろうか?

ああ……
俺を愛してくれ



そうやって
弄ってるんだ!



んっ……んん

あっ



アバターとは違うんだ
しっかり広げないと
君が傷つくだろう

も
焦
ら
す
……
な
!
早
く
っ



深くあつ
もつとゆっくり

そう言うなら

は、

びしょ

は、

は、

は、

早くと言ったり
遅くと言ったり
君は注文が多いな

ひっああ!

あっ!

びしょ



ど"3°
す"3°

また 今度こそ
いく……

あ

は

は

ど"ちや

は

い……あ



え?

お前!
わざとだな

ぷるぷる



なんでイかせないようにするんだ!

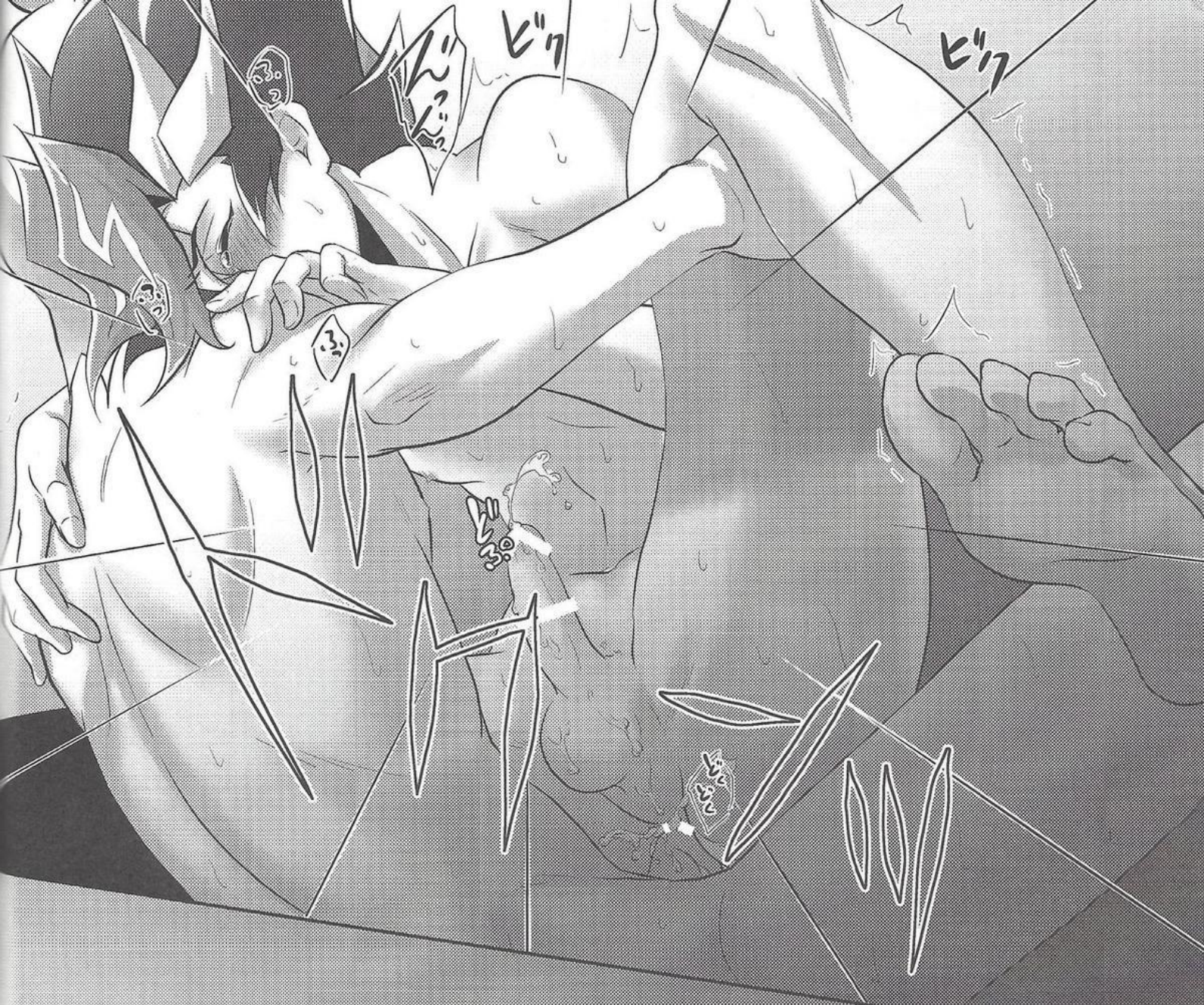
意地が悪っ あっ

俺はずっとお前の事ばかり考えてるのにな

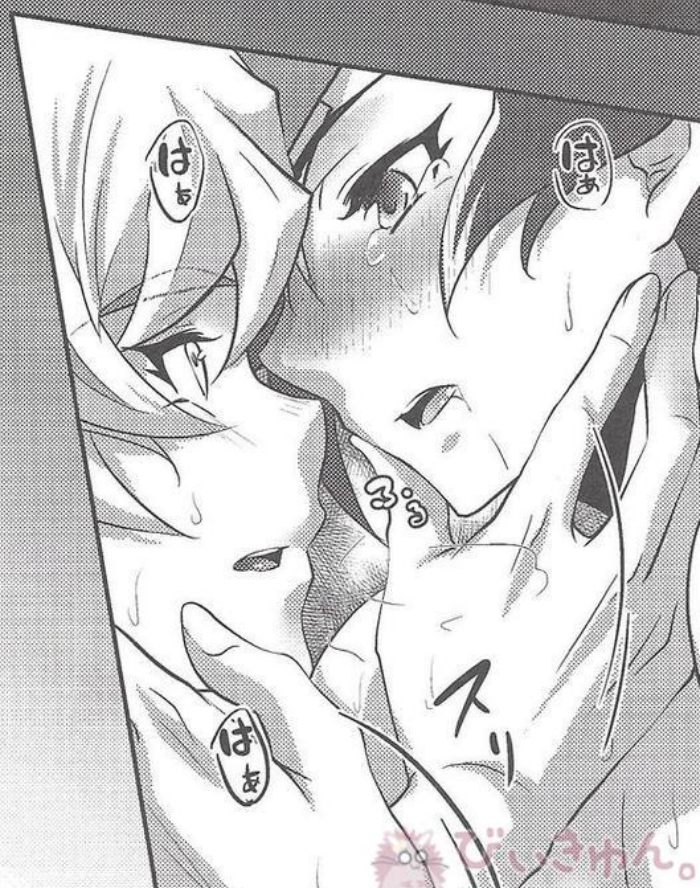
こうすれば君は私の事しか考えられなくなるだろう?



そうだ私は意地が悪くて君の心を私で満たしたい独占欲の強い男だよ...



君を愛してる



……ああ
すまないな

しばらく留守にするが
そのまま進めてもらって
構わない

君に

愛を贈ろうと思う

君の人生で永遠に色あせない
愛を贈ろうと思う

私が消えたその後も
君が忘れてしまえないように

了見！
崖の反対側は
ビーチになってるんだな

そちら側は
プライベートビーチに
なってるんだ
行ってみるか？

……ああ

えっ、えっ、
プライベートビーチ
ってなに？



ああ……だが君は
君の前から消える私を憎むだろうか

20181007

NeoWing 彩霞

pixiv : 1843485

Twitter : saika318

Mail : kinokino@wing.crap.jp

印刷所 : サングループ



そして夏の終わりに了見くんが
突然消えてしまうまで二人の幸福な
夏休みがあるのです！
オンとオフを切り離して行動する
了見くんなので愛し合ったのに
置いて行かれる遊作ん可愛そうだし
了見くんが何故去れるのかわからなくて
苦しみそうだしそんな中で始まる二期。
命がけの戦いを続ける了見くんと
なんとか戦いを終わらせたい遊作くんの
対比が二期はとても楽しいです。

無断転載・無断掲載・アップロード等禁止します

20181007

Yu-Gi-Oh! VRAINS

Fan Fiction Book 7

Ryoken * Yusaku

